

### 第30回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

【発表No. E02】

論文No.	C05
タイトル	都市部基幹バスの自動運転導入に伴う環境基盤整備と交通課題解決
所属・名前	前橋市 細谷 精一 前橋市 飯塚 弘一
キーワード	① 路線（基幹）バス ② 自動運転 ③ 5G
<p>高齢社会の現在においては、バスを含めた公共交通の確保の重要性が高まる一方で、バス運転手の高齢化、運転手不足は深刻なものになっている。この課題の解決策の一つとして、前橋市では、群馬大学及び日本中央バスと協定を締結し、JR前橋駅と上毛電鉄中央前橋駅を結ぶシャトルバスで、レベル4を目指した全国初の路線バス（基幹バス）での自動運転の実証実験に向けた準備を行っている。11月からは有人での自動運転を開始する予定となっている。</p> <p>今後、安全性を確保しながらレベル4での自動運転を社会に実装するためには、車両単独で自動運転を行うための必要な要素を完結させるのではなく、道路環境を含めたまち全体で自動運転を補完できるような仕組みづくりが求められる。これを踏まえ、5Gをはじめとした情報インフラの整備の必要性、ICTを活用した公共交通の課題解決の検討とそれらを基盤にした持続可能なまちのあり方について述べる。</p>	